

第1回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価会議 議事録

開催日時	平成28年11月18日(金) 午前10時～午後12時		
開催場所	西尾市役所52会議室		
出席者	【会長】		
	日本福祉大学	国際福祉開発学部教授	千頭 聡
	【副会長】		
	NPO 法人やらまいか人まちサポート	理事長	牧野明広
	【評価会議会員】		
	西三河農業協同組合	営農部長	黒野善久
	西三河漁業協同組合	総務部長	高須芳光
	西尾市観光協会	営業本部長	田中 等
	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	議長	中村守道
	株式会社 キャッチネットワーク	代表取締役常務	松永光司
	西尾商工会議所中小企業相談所	所長	若杉真吾
	西尾信用金庫	企業支援部長	樫山幸彦
	【事務局】		
	企画部	次長	宮地将人
	企画部企画政策課	主幹	齋藤武雄
	企画部企画政策課	主任主査	本田正浩
	企画部企画政策課	主事	加藤弘之
企画部企画政策課	主事	鈴木 恵	
【交付金対象事業関係者】			
産業部企業誘致課	課長	河原成治	
産業部企業誘致課	主査	大野修司	
産業部商工観光課	主任主査	高須清和	
欠席者	保育園園長 矢田つぼみ保育園 杉浦孝子		
内容	<p>1 開会及びあいさつ 企画部次長よりあいさつ</p> <p>2 議題 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の平成27年度 の取組状況等について 事務局及び交付金対象事業関係者より説明 (会員からの主な意見)</p> <p>【会員】 市内に住む多くの方は、製造業に関係していると思う。人口を増やすことが目的 であるなら、製造業に対する対策が少ないのでは。</p> <p>【事務局】 製造業については、うまく進んでいるということもあり、課題の多い1次産業に 対する施策が多くなっています。製造業に対する施策が重要だということは改めて 再認識させていただきます。</p>		

【会員】

人口の増加について、例えば西三河の範囲内の状況は。

【事務局】

西三河地域では碧南市を除く8市が人口増となっています。

【会員】

指標について、最終年の目標数値はあるが計画期間内の年度毎の目標はあるのか。

【事務局】

現在は年度毎の目標数値はもっていません。指標によってうまく出せるものと出せないものがあるので今後検討します。

【会員】

寄生虫などの影響によりアサリの生産高が落ちてきている。漁業者の中にも、アサリで収入が得られず、漁業を辞め、会社勤めになる方もいる。現在アサリ資源を増やす方向で進んでいるが、市としても対応してほしい。

【事務局】

関係課に伝えてまいります。

【会員】

事業承継の件数のカウントの仕方はどのようなか。

【事務局】

基準年からの累計としています。

【会員】

担い手農家が10年前とくらべて32%の減となってきた。新規就農者も減ってきている。遊休農地も増えており、オペレーターも手が回らなくなってきた。このような現状に対する具体的な施策を進めてほしい。

【会員】

観光面で西尾市は他市と比べてアドバンテージがある。他の地域との競争であるので、もっと差別化を図るべきである。色々な施策を行っているがまだ点で終わっていることが多く、線そして面となるように総合プロデュースが必要。

外国人に体験型のツアーが注目されている。名古屋は3大都市で一番魅力がないと言われるように愛知県は素通りされることが多い。「見せる。食べる。」だけでなく体験型を進めていくべきである。昇龍道のように他市町と連携をしてもっとこの地域に観光客を呼び込む必要がある。1つの市では限界があるので、西尾市がプレゼンスを示して進めてほしい。

【事務局】

今年度竜の子街道ということで、西尾市、碧南市、常滑市、半田市と連携して観光振興を推進しています。

【会員】

観光協会としても西三河観光ネットワークやGOGO三河湾など他地域との連携による活動をしており、点から線になるようにひとつひとつ進めていきたい。ホームページのアクセス数はページビューなのかユーザー数なのか。現在の観光協会のHPの直帰率は57%で、平均してみってくれる時間は2分ちよつとである。ページビューのみで測るのではなくて、ユーザー数や直帰率も検討した方が良いと思う。

【会員】

物産展での認知度が 30%となっているが他市町に伺った時にそこまで西尾市の認知度が高いとは思えない。どういう形で 30%という数字がでてきたのか。

【事務局】

東京の物産展でご来場いただいた方に対してアンケートをとった結果です。

【会員】

オティックスでは社員の福利厚生として潮干狩りを行っており好評である。しかし、弁当にたこめしが出てきたことが残念だった。この地域のものが提供できると良い。茶摘みや潮干狩りなどの体験ツアーは実際に行われているのか。こういうものを色々な連携によりPRできると良い。

【会員】

潮干狩りについては漁協が運営に関わっているわけですが、食品は衛生上の問題をクリアする必要があるため、何でも可能というわけではない。

【会長】

もっとSNSを活用して観光振興を進めるべき。市民の皆さんがSNSを活用して発信するなら費用はかからない。また、在住の外国人の方に協力を求めることは良いと思う。

【会員】

佐久島の来訪者がかなり増加している中で、レンタルサイクルの利用方法など来訪者のマナーが悪いことがある。

【事務局】

島民の中でも同じように感じている方はいると思っています。佐久島振興課を中心に佐久島のまちづくりの中で島民の方と共に対策を考えていきたいと思えます。

【会員】

女性の活躍推進宣言や待機児童がないことなど、他市と比べても色々な取組をしているので、もっと民間への横展開に取り組んでほしい。

一番重要な指標である合計特殊出生率が下がってしまっている。結婚や出産を機にやめる女性はまだまだ多い。もっと男性の意識改革を進めるべきで、より働きやすい職場環境の推進を図ってほしい。そうすることで女性の就業率アップに繋がる。

【事務局】

短期間で合計特殊出生率は上げられるものではないと思っています。タイムラグはあると思うが、それぞれの施策を進めていくことが、後の数値を上げることに繋がっていくと考えています。

【会員】

企業内での託児所は自前で設置することはなかなか難しい。例えば好事例の取組を行っているところには助成を行い、女性でも働きやすい職場がたくさんあることを発信していけるようになると良い。

【事務局】

今後0歳児や1歳児の対応について市役所だけでは対応が難しくなってくることも考えられます。民間との協力はより必要となってくると思われますので、今後

対応を検討していくように担当課に伝えていきます。

【会員】

佐久島の渡船事業は3,000万円程度収益があると伺っている。利用者への対策は記載されているが、島民に対するフォローも必要である。佐久島の空き家対策やアートが草で埋もれているので環境整備をしてもらいたい。

【事務局】

佐久島振興課が中心となって佐久島のまちづくりについて、色々課題はありますが島民と議論をして進めています。

【会員】

先日佐久島に伺ったときに空き家が多いと感じた。また、畑も管理がされてなく荒れていた箇所もあった。デイサービスでの活用、ひまわりやコスモス畑としての利用なども考えられると思う。

【会員】

南海トラフ地震はこの地域に対してのディスアドバンテージである。防災に関する対策をもっと取り組み、安全に移り住んでもらえるようにすべき。

【事務局】

防災減災は市の重点項目として色々な施策に取り組んでいます。今回の総合戦略では、雇用や移住定住の面からの施策を中心に掲げており、防災減災対策を行っていないということではありません。

【会員】

この地域は優良な企業が多いことで、出生率が低くても若い世代が転入してくることで人口増という形になっている。団塊の世代が後期高齢者になる2025年には確実に高齢化率は上がり、生産人口も減ってしまう。どれだけ外部から人口を確保できるかが重要になる。防災については、市、商工会議所、企業も取り組んでいるが、その時のためにBCPをしっかりと打ち出していくことが、災害に強い西尾市を感じられ、魅力あるまちであることを伝える手段となっていくと思う。

【会員】

観光協会の地域の若手で構成される食部会では、地域の食材を活かした料理を作っているのも、もっと市内に来た方に提供できる機会があると良い。

【会員】

多言語表示やARアプリなどのコンテンツは素晴らしいと思う。このようなツールをもっとPRし目立つようにしていくべき。

【会員】

高齢者は増えてくるので足となる公共交通はより重要となる。駅を中心としたコンパクトシティというが、市内のバス停がわからず利用できない。全路線を市民がわかるようになると良い。

【会員】

西尾市が取り組んでいる人口を増やすための施策をみたことがない。他市と比較してアピールすることが必要だと思う。

【事務局】

10 月末に移住定住者を増やすことを目的としたシティプロモーションブックを作成しており、西尾市の良さを目に見える形のものにしています。

【会長】

今回の取り組み状況のまとめは事務局案のとおりといたしますが、今日皆様方からいただいた意見は今後の計画に反映させていくことを事務局に検討していただくこととさせていただきます、本日の会議を終了いたします。